TRIPLE

Tube Guitar Amplifier

取扱説明書

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この取扱説明書には諸機能の説明、および各機能の使い方が詳しく書いてあります。商品の性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為にはこの取扱説明書をよくお読みになり、注意点や警告については特に目を通して下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

ご使用の前に

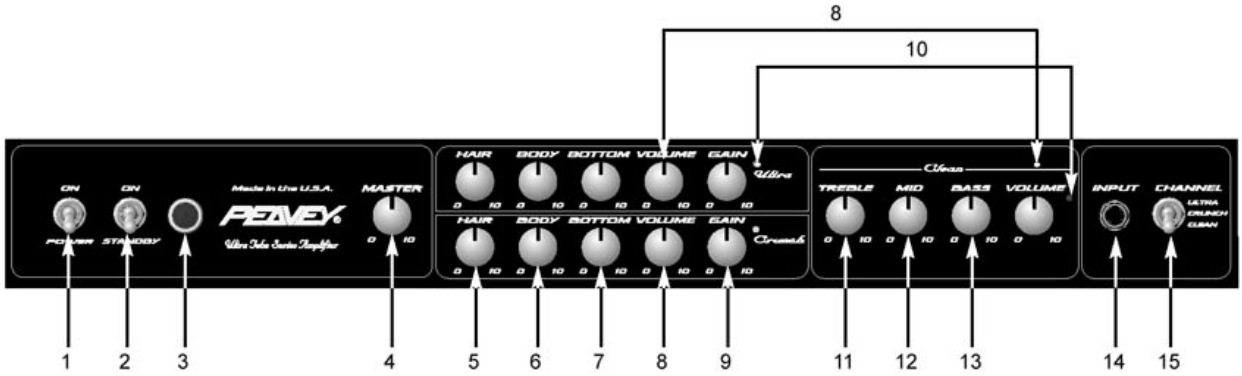
1. この取り扱い説明書にしたがって操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V,50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
8. 故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡してください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

主な機能

- 12AX7 プリアンプ真空管が 3 本
- 12AX7 でドライブされている 6L6GC パワーアンプ真空管が 4 本
- パワーアンプ真空管を EL34 真空管 4 本に変更することが可能
- フットスイッチで切り替え可能なエフェクト・ループは独立した SEND と RETURN コントロール搭載
- ダンピング･スイッチ（Tight、Medium、Loose）
- Ultra と Crunch チャンネルには優れたノイズ･ゲート回路を搭載
- レベル･コントロール付きライン出力
- キャビネット･インピーダンス･スイッチ(4, 6, 16Ω切替可能)
- 電源、スタンバイとチャンネルは頑丈なトグル･スイッチで切替
- クラシックな電源ステータス･インジケーター･ランプ
- クローム･メッキの真鍮製コントロール･ノブ

各部の説明

フロントパネル



1. **POWER**：パワー・スイッチ
   電源スイッチです。“ ON ”の位置にすると、本体の電源が入ります。
2. **STANDBY**：スタンバイ･スイッチ／LED
   音を出す必要がない時（チューニングをする時やリハーサルから本番までの時間等）にはスタンバイ・モードにしておくことができます。電源を OFF にしても音が出ない状態にすることはできますが、真空管は冷えてしまいます。スタンバイ・モードでは真空管は暖まったままの状態を保ちウォームアップする時間を省くため、すぐに使用することができます。“ ON ”の位置にするとアンプがアクティブ･モードになります。
3. **POWER STATUS LAMP**
   電源がアンプに供給されている際にこの赤いランプが点灯します。
4. **MASTER VOLUME**
   全体のボリューム・レベルを調節します。CHANNEL の間で音量のバランスが取れましたら、マスター・ボリュームレベル・コントロールを使って全体のシステム・レベルの調整を行います。時計回りに回しますと、レベルが上がり、反時計回りに回しますとレベルが下がります。
5. **HAIR**
   高域の補正（ブーストやカット）を行うアクティブ･トーン･コントロールです（シェルビングタイプ±15dB）。
   注意：このコントロールは CLEAN チャンネルにおいては機能しません。
6. **BODY**
   中域の補正（ブーストやカット）を行うアクティブ･トーン･コントロールです（ピーク/ノッチ±15 dB）。
   注意：このコントロールは CLEAN チャンネルにおいては機能しません。
7. **BOTTOM**
   低域の補正（ブーストやカット）を行うアクティブ・トーン・コントロールです（シェルビング・タイプ±15 dB）。
   注意：このコントロールは CLEAN チャンネルにおいては機能しません。
8. **VOLUME**
   各チャンネルの全体のボリューム・レベルを調節します。最終的なレベル調整は、好みのサウンドを得てから行うようにして下さい。

9. GAIN

Ultra と Crunch チャンネルの入力ボリューム・レベルを調節します。時計回りに回しますと、プリアンプ･ディストーションとサスティーンが増します。

10. CHANNEL ACTIVATION LED

LED インジケーターでどのチャンネルが選択されているか表示されます。Ultra チャンネルが選択されている際は赤い LED、Crunch の場合は黄色の LED、Clean の場合は緑の LED が点灯します。

11. TREBLE

このパッシブ･コントロールでClean チャンネルの高域の調整を行います。

12. MID

このパッシブ･コントロールでClean チャンネルの中域の調整を行います。

13. BASS

このパッシブ･コントロールでClean チャンネルの低域の調整を行います。

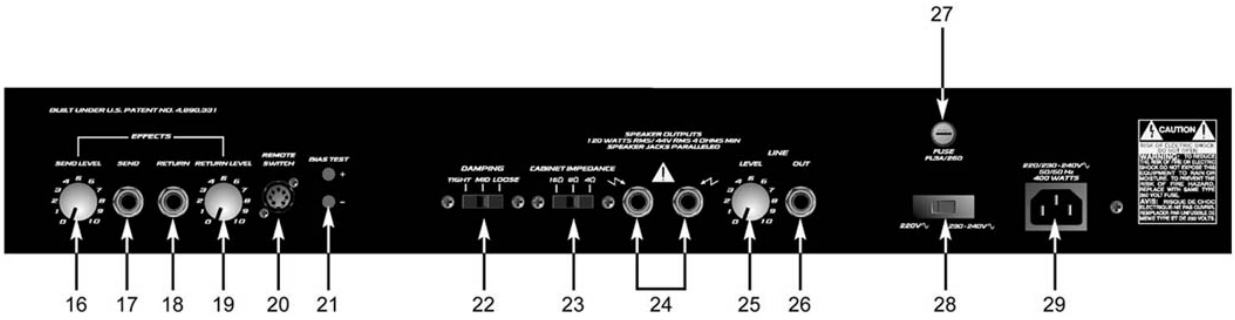
14. INPUT

このフォン入力端子にギターを接続します。入力信号のゲインは GAIN(9)コントロールで調節することができます（Ultra と Crunch チャンネルのみ）。

15. CHANNEL SELECT SWITCH

チャンネルの選択をこの 3 ポジション･スイッチで選択します。選択されているチャンネルは LED(10)で表示します。フットスイッチでチャンネルを選択することもできます。詳細はマニュアルの FOOTSWITCH の章を参照して下さい。フットスイッチを正しく使用するには CHANNEL SELECT SWITCH は必ず Ultra の位置にあることを確認して下さい。

リアパネル



16. EFFECT SEND LEVEL

外部エフェクトやシグナル･プロセッサーへ送る信号のレベルを目盛 (0~10) が付いたコントロールで調整します。時計方向に回すと送信される信号のレベルが上がり、反時計回りでレベルが下がります。ノイズを最小限に抑える場合はエフェクト･センド･レベルをできる限り高く設定する必要があります。一般的に SEND と RETURN レベルは正反対に設定します。音量にブーストが必要な場合は 2 つのコントロールの設定を上げてみて下さい。

17. /18. EFFECT SEND/EFFECT RETURN

外部エフェクターやプロセッサーに信号を送り、エフェクト処理された信号をリターンへ戻す為のセンド/リターン用のフォン端子です。このエフェクト・ループを使用する際はゲインエフェクト（コンプレッサー、ディストーション等）の使用を避けるようにして下さい。モノラル・フォンプラグ付のシールドケーブルで SEND から外部のエフェクト・プロセッサーの INPUT へ、そしてエフェクト・プロセッサーの OUTPUT からギターアンプのエフェクトリターンへ戻します。フットスイッチをご使用の場合、左側のスイッチでエフェクト・ループの ON/OFF が可能です。

19. EFFECT RETURN LEVEL

外部エフェクトやシグナル･プロセッサーから信号を Triple XXX に戻す際にこのコントロールを使用します。時計方向に回すと受信される信号のレベルが上がり、反時計回りでレベルが下がります。EFFECT SEND と同じく、一般的に SEND と RETURN レベルは正反対に設定します。音量にブーストが必要な場合は 2 つのコントロールの設定を上げてみて下さい。

20. REMOTE SWITCH

付属のリモート・フットスイッチを接続する時に使用する 7 ピン DIN 端子です。必ず電源を入れる前にフット・スイッチを接続して下さい。詳細は本マニュアルのフットスイッチの章を参照して下さい。

21. BIAS TEST TERMINAL

グリルの後ろにある調節ツマミはパワーアンプの真空管のバイアスを計測・調節するためのものです。バイアス調節に関しては資格のある技術者にご相談下さい。

22. DAMPING SWITCH

この 3 ポジション･スイッチでアンプのダンピング･ファクターの調整を行います。ダンピングとは信号が消えてからアンプがどの様にスピーカーコーンの動きをコントロールするかを調整

する機能です。ダンピング･ファクターが高く設定されている場合（Tight）、低く設定されている場合（Loose）よりスピーカーの振動が速く消えます。このスイッチは他の Peavey アンプに搭載されているレゾナンスとプレゼンス･コントロールを同時に使うことと同じような機能を持っています。DAMPING SWITCH の設定が変更されますと、アンプの音量も変わってしまい、調整が必要になります。

23. CABINET IMPEDANCE SWITCH

スピーカーに適したインピーダンスを選択します。２台のスピーカーのインピーダンスが同じ場合、その値を 1／2 に設定します（例：16Ωのスピーカーが 2 台ある場合は 8Ωに設定、8Ωのスピーカーが 2 台ある場合は 4Ωに切替わります）。

24. SPEAKER OUTPUTS

スピーカーをアンプに（最小で 4Ω）接続するにはパラレルに配線してあるフォンの出力端子を使います。スピーカーを 2 台以上使用する時は、インピーダンスの合計を必ず確認し、それに合わせてインピーダンス・スイッチを設定します。

25. LINE OUT LEVEL

このつまみで LINE OUT 端子(26)から出力される信号のレベルを調整します。LINE OUT から接続するスレーブ･パワーアンプやスピーカー･システムのレベルと SPEAKER OUTPUTS(24)から接続されるキャビネットのレベルのバランスを調整することができます。

26. LINE OUT

このモノラル･フォン端子はポスト･パワーアンプ信号を出力し、この音色を保ちながら他のアンプ/スピーカーシステムをドライブすることが可能です。

27. FUSE

警告：ヒューズは必ず電源コードをコンセントから抜いてから取替るようにして下さい。ヒューズはホルダーの蓋の中に入っています。これは必ず同型で同値のものと取替えるようにして下さい。ヒューズが度々とんでしまうような場合は PEAVEY 正規代理店のサービスセンターに修理をご依頼下さい。

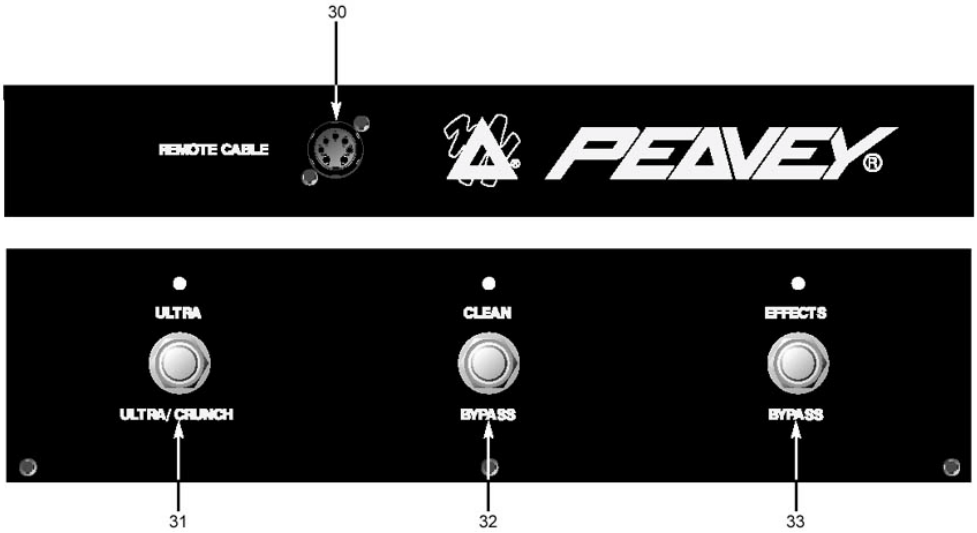
28. GROUND POLARITY SWITCH

このスイッチは 3 段階のスイッチで、通常“ 中央の位置（0）”にしておきます。グランド･スイッチが中央位置に設定してある状態でスピーカーからハム・ノイズが出ている場合には、このスイッチを＋または－のどちらかにしてハム・ノイズを小さくします。もし、ハム・ノイズ障害がずっと続くようであれば、PEAVEY 正規代理店のサービスセンターにご相談下さい。

29. IEC MAINS CONNECTOR

安全の為、適切な設備で使用する３ワイヤー・コードが内蔵されています。いかなる場合でもグランド・ピンは取り除かないで下さい。グランド設備が整っていない環境でアンプを使用しなくてはならない時は適切なグランド・アダプターを必ず使用して下さい。適切なグランド・コンセントを使用すれば、ノイズが軽減され、感電事故も防ぐ事ができます。

フットスイッチ



30. CABLE CONNECTOR

7 ピン DIN 端子に付属のケーブルを接続し、アンプの REMOTE SWITCH(20)に接続して下さい。フットスイッチのケーブルは必ずアンプの電源を入れる前に差込んで下さい。

31. ULTRA/CRUNCH SELECTOR

このスイッチでアンプの Ultra と Crunch の切り替えを行います。Ultra が選択されている時はボタンの上の LED が点灯し、LED が消灯している場合は Crunch になります。尚、この切り替えを行うには CLEAN SELECTOR(32)がバイパス・モードになっていることが必要です。

32. CLEAN SELECTOR

このスイッチで ULTRA/CLEAN SELECTOR の位置に関わらず CLEAN CHANNEL が選択されます。CLEAN が選択されている状態ですとボタン上の LED が点灯します。ULTRA/CRUNCH SELECTOR を使用するには CLEAN SELECTOR をバイパスモード（CLEAN SELECTOR LED 消灯状態）にして下さい。

33. EFFECTS SELECTOR

このスイッチでアンプのエフェクトループ(16~19)を有効にします。EFFECT LOOP が有効の際はボタン上の LED が点灯します。

TRIPLE XXX SPECIFICATIONS

Power Amplifier Section:

Tubes:

Four 6L6GCs with 12AX7 driver

Rated Power and Load:

120 W RMS into 16, 8, or 4 Ohms

Power @ Clipping:

(typically @ 5% THD, 1 kHz, 120 VAC line)

120 W RMS into 16, 8, or 4 Ohms

Frequency Response:

±3 dB 50 Hz to 20 kHz @ 90 W RMS into 8 Ohms

Hum and Noise:

Greater than 76 dB below rated power

Power Consumption:

Domestic: 400 W, 50/60 Hz, 120 VAC

Export: 400 W, 60 Hz, 220-230/240 VAC

Preamp Section:

Tubes:

Three 12AX7s

The following specs are measured @ 1 kHz with the controls preset as follows:

Low and High EQ @ 10, Mid EQ @ 0

Ultra and Crunch Posts @ 10

Bottom, Body, and Hair EQ @ 5

Effects Send @ 0

Effects Return @ 10

Master Level @ 5

Nominal Levels are with Pre Gain @ 5

Minimum Levels are with Pre Gain @ 10

Clean Channel:

Nominal Input Level: -20 dBV, 100 mV RMS

Minimum Input Level: -30 dBV, 30 mV RMS

Maximum Input Level: 0 dBV, 1.0 mV RMS

Crunch Channel:

Nominal Input Level: -80 dBV, 0.1 mV RMS

Minimum Input Level: -90 dBV, 0.03 mV RMS

Ultra Channel:

Nominal Input Level: -80 dBV, 0.1 mV RMS

Minimum Input Level: -90 dBV, 0.03 mV RMS

Effects Send:

Load Impedance: 47 k Ohms or greater

Minimum Output: -10 dBV, 300 mV RMS

Maximum Output: 0 dBV, 1 V RMS

Effects Return:

Impedance: High-Z, 80 k Ohms

Minimum Input Sensitivity: -10 dBV, 300 mV RMS

Maximum Input Sensitivity: 0 dBV, 1 V RMS

Line Output:

Load Impedance: 47 k Ohms or greater

Adjustable Output: ±20 dBV, 0.1 V RMS-10 V RMS

Remote Footswitch:

Special 3-button unit with LED indicators (supplied)

System Hum and Noise @ Nominal Level:

(Clean channel, 20 Hz to 20 kHz unweighted)

Greater than 74 dB below rated power

(Special noise gate circuitry for Ultra & Crunch)

Equalization: (Clean channel only)

Custom Low, Mid, and High passive type EQ

Voicing: (Ultra and Crunch channels only)

Active Bottom, Body, and Hair (Edge) EQ

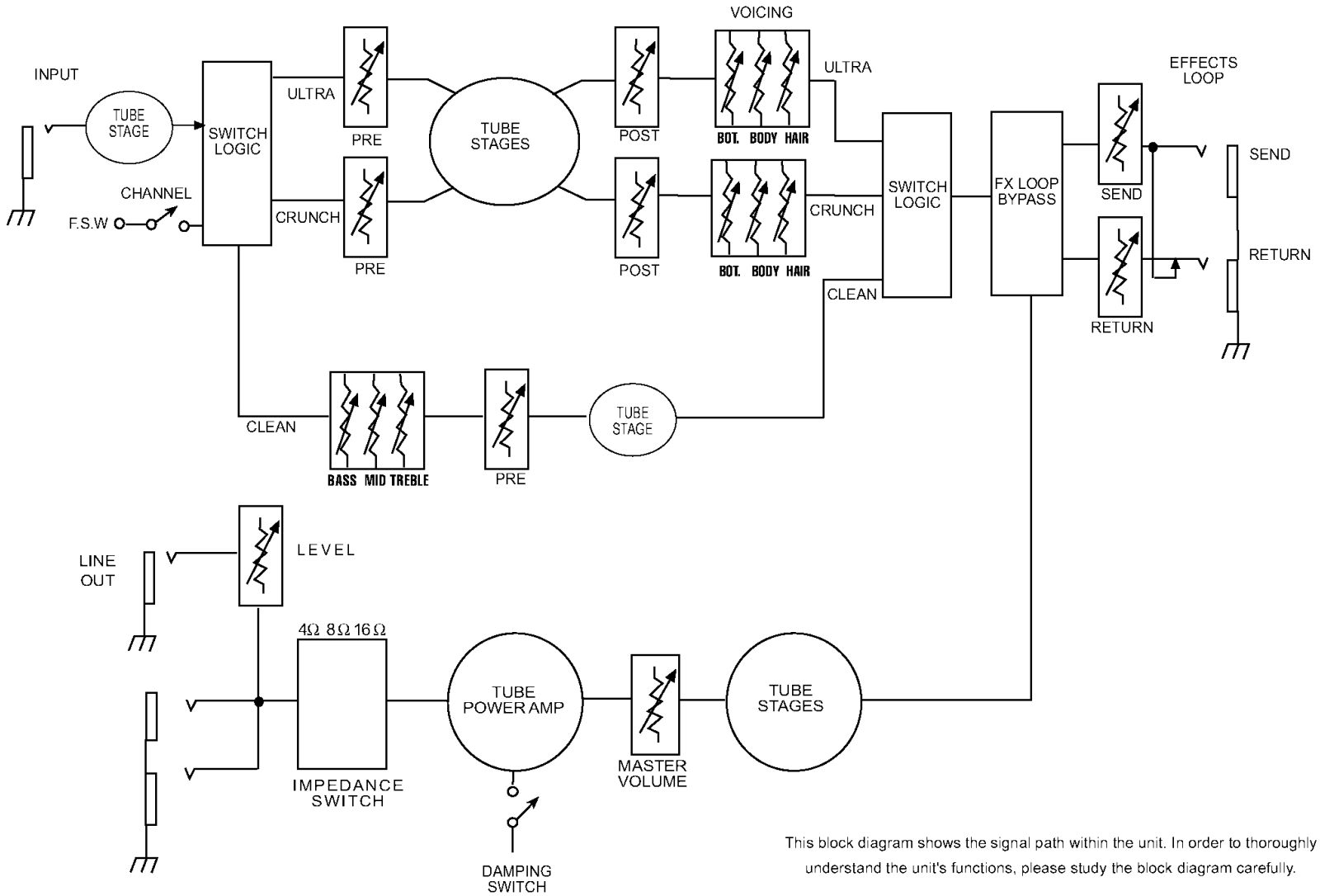
Boost/Cut ±12 dB

Dimensions and Weight:

11.0" (279 mm) H x 26.5" (673 mm) W x 11.0" (279 mm) D

52 lbs. (23.6 kg)

Triple XXX Block Diagram



This block diagram shows the signal path within the unit. In order to thoroughly understand the unit's functions, please study the block diagram carefully.

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。